

# 青翔開智高等学校 令和7年度 入試概況

## 入試結果概況

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	総合型	一般	総合型	一般	総合型	一般
募集定員	20		20		20	
志願者数	4	35	6	24	2	9
合格者数	4	30	5	15	1	6

※入試結果に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

## 入試総評

令和5年度入試より総合型選抜と一般選抜に分けて実施しています。

総合型選抜は、面接検査として「中学校3年間の活動や研究等の実績紹介および本校での探究計画について」というテーマでプレゼンテーションしてもらい、その内容について質疑応答を行ないました。

一般選抜の選考内容は、例年通り学力検査（5教科）及び面接検査（個人面接、書類審査）でした。

いずれの選抜においても、アドミッション・ポリシーに沿った人物であるかどうかを総合的に判断して合否を決定しました。

## 学力検査 詳細

科目／配点	国語／50	数学／50	社会／50	英語／50	理科／50	合計／250
受検者最高点	38	40	49	48	45	213
受検者最低点	27	10	32	22	16	129
受検者平均点 5教科250点満点	32.8	27.3	40.1	37.3	31.1	168.7
合格者平均点 5教科250点満点	-	-	-	-	-	185.0

※上記は令和7年1月24日（金）実施の一般選抜「学力検査」結果に基づく数値です。

実際の合否は、学力検査・面接検査を合わせた総合判定となります。

## 国語

大問5題で例年よりやや難化しましたが、基本を押さえた丁寧な解答を求める点は変わりません。【問題1】は、口語文法や漢字などの知識・論理展開の把握など、基礎的な知識と読解力を問う問題です。

【問題2】 【問題3】 【問題4】 はそれぞれ論理的文章・文学的文章・古文の問題です。【問題5】は国語の語彙に関する実態について、複数のデータ資料の関係を読み取り考察する作文問題です。作文問題の練習をする際は自分で書いてみるだけでなく、身近な先生に添削をしてもらい、アドバイスを参考にしながら記述力を向上するようにしましょう。

## 数学

構成は5題で、難度は標準でした。【問題1】は基礎計算に加えて、数字や図形の意味を理解しているかを問う形となりました。【問題3】 【問題4】 では基本的な関数、規則性の問題を出題しました。【問題5】は、発展的な内容ではありますが、問題文中に計算方法の記載があり、文章を正しく読み、図や数式に表す力があれば答えを求めることができます。言葉を正確に理解する習慣をつけていただきたいです。

## 社会

地理・歴史・公民の全分野からの出題となりました。基本的な用語をただ覚えるだけでなく、用語・図・グラフなどから背景や理由を考え、時代の流れを大まかに捉えることを求めました。【問題4】では、2024年に導入された新札に関連して、紙幣というテーマで出題しました。普段の学習から時事問題に興味関心を持ち、複数の視点から歴史的背景を考えたり、資料を読み取るようとする学習の視野を養うことが大切です。

## 英語

本試験は全6題構成で、基本的な文法や語彙に加え、リスニング・リーディング・ライティングといった総合力を問いました。なかでも【問題6】は、提示されたイラストに関して自由に英作文を行うもので、イラストの流れに沿って描写する問題となっています。限られた文字数のなかで文法やスペリングミスができる限り減らし、的確に書くことを求めています。全問題を通して身近な学校生活から社会問題といった内容を出題しています。普段から教室の外にも目を向ける姿勢が大切です。

## 理科

全8題で出題し、実験の観察およびその考察を題材とした問題が中心でした。基礎的な知識を問う問題に加え、与えられた条件をもとに作図させる問題や、思考力を要する計算問題も合わせて出題しました。また本校で行う探究活動においては、複数の情報に繋がりや規則性を見出し、課題に対する答えを導く機会が多くあります。そのため【問題8】では「屋根の上に取り付ける太陽光電池」を題材に、得られた実験結果に加えて太陽高度にも着眼し、太陽光電池を取り付ける際の最適な取り付け角度について考えるなど、様々な視点から物事を判断する能力を問いました。